

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス・ポラリス				公表日	令和7年3月13日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・個別対応可能な部屋がある。 ・利用する児童数に応じた活動スペースを確保している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		利用する児童数に応じた職員を配置している また、トラブル等が起きた際にはどう動くのか事前に話し合いが出来る		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		個人の物に名前表記、支援に必要な物品や玩具等が必要に応じて手に取れる場所に置かれている 反対に危険な物品は手の届かない所に置かれている 順番を待つ時にはどこにいるべきか足形マットが置かれており分かりやすい環境になっている 車いすが部屋で動きやすい環境設定も行っている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		児童の特性に応じた空間となっている時間がある時には児童達も一緒に掃除し、綺麗な空間を皆で作っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		クールダウンや静かに学習したい時、体調不良の際には活動部屋とは別の場所で落ち着いて過ごせるようになっている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		PDCAが行われている極力その日に振り返り、翌日の朝礼時には対応策を考えよう行動している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		把握する機会を設けている何が足りないか確認し、話し合いも行われている反対に評価がよかった部分には自信に繋げ、更により支援を提供出来るよう努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		定期的な面談や業務改善会議設定がある	チームで沢山話し合いを行い、各職員の意見を出し合い、尊重しながら業務改善に繋げている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6	他部署の活動に参加したり、反対に見に来てもらったりしながら互いの部署を尊重しながら評価を行い、業務改善に繋げている。	今後第三者委員の設置を検討していく	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		研修内容が発信されるLINEグループがあり、受講したいものを自身で決められるようになっている。 また定期的に内部研修も行われており、各職員のスキルアップにも繋がっている。 全職員の目標に向けての応援やサポートもとても手厚い！		
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		活動記録等や毎回活動後に記録し次回利用前に確認している。職員、保護者に公表されている。職員には全児童のプログラムを知る会議を設け共通理解出来るよう工夫している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		アセスメントの見直しと作成を6か月ごとに行っています。作成時には保護者にご来所いただき、45～60分程度の面談を実施しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		毎月ケース検討会議等行い共通理解を図っている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		全児童に対しアセスメント、モニタリング、計画作成等の会議行い定期的に見直しもしている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		事業所独自のケース記録を作成し、定期的な内容の検討やモニタリングを行っている		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		適切に支援内容が設定されている。 保護者の思いを聞き取りながら最優先な支援がガイドラインに沿って作成され、提供されている		

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		日案に基づき、作成者、職員内で意見交換を実施している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		曜日や長期休み等活動時間や個人の特性に合わせてプログラムを立案している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		日案作成し状況把握共有を行い支援している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎朝必ず朝礼を行い、漏れないよう確認している ヘルプが必要な際には、ヘルプがあることしっかり連携が取れている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		業務後振り返りを行い、必要に応じて瞬時に共有、翌日に共有し、改善が必要な点は話し合いを行い、改善に務めている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		記録をし共有している。 気づきが合った部分は翌日の支援から改善出来るよう務めている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的なモニタリングとは別に月に1度は必ず各児童の状況確認を行い、見直しと必要に応じた支援が提供出来るようになっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7		4つの基本活動を把握し、作成されている。組み合わせも話し合いを重ね設定されている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		食べたいおやつや自由時間には何をしてお過ごしたいか等自身で選択・決定する場を設定している 児童の特性に応じた絵カードや文字入力出来る環境設定もしている	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		各児童の担当者が責任を持って参画している 不安に感じる際には事前に事業所内で会議を行う等、サポート体制もとっている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	体制を整えている。 実際に行っている児童もおり、事業所での姿や支援を行った際の様子等適切に伝えられるように努めている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		下校時間に相違が生じないよう、各学校の行事情報をホームページや保護者様のご協力を通じて把握し、オンラインアプリ（HUG）にて行き帰りの時間を保護者様が簡単に確認できるよう工夫しています	必要に応じて行っているが、頻度は少ない もっと情報共有出来るよう互いに寄り添い合わないといけないと感じている
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	5	過去には情報共有を行っていたと聞いたことがあるが今年からは出来ていなかった 自身で事前に様子を見に行く、電話で聞く等行動に移す必要がある	保護者様とのアセスメントは実施していますが、関係機関への訪問が不足しているため、今後の課題として改善に取り組んでいきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		放課後等デイサービスを卒業する際にはサポートブックを作成し、次の活動場所に児童の事を知って頂けるようにご挨拶も兼ねて職員がお渡ししに行く、または保護者の方にお渡しして頂いている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	5	年に数回地域の放課後等デイサービスの職員が集まる研修会に参加している 研修内容や研修資料を他の職員にも共有している	今後の課題として認識しています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	毎年の課題となっている ハードルが高くなっていない	安全面において担保されていない現状では、児童にとって最適な取り組みとの判断にいたっていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	4		一度だけ参加 今後は参加頻度を上げていきたい
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		少しでも異変があればすぐに保護者、職員に共有し対応出来る体制を整えている 課題に対しても同様	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		数回ではあるが行っている	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約をする時にしっかり行うが、利用開始後も丁寧に行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		子ども、保護者どちらも思いを聞き取っている 言葉で表現する事が困難な児童にはイラストを用意し、思いを聞き取るよう務めている	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		面談の際に保護者の思いを聞き取り、一緒に方向性を確認し作成し、必ず同意を頂いている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		面談、メッセージ、電話等に対応しているスピーディーに対応出来るよう務めている職員間で共有も行き、必要な助言を行い、支援もを行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	1	父母会や保護者会は行っていないが、活動を通して友達になった地域小学校と支援学校の児童が活動時間外に保護者同伴のもと一緒に遊ぶといったことに繋がった	2024年度は開催する事が出来なかった。来年度の課題として工夫して行く。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情があった際には迅速に対応出来る また職員にも周知している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		活動概要や行事予定は変更する事がある為、出来る範囲で行っている ブログや活動の様子は多く配信出来る	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		留意するよう努めている 危険と感じる事があれば指導も行い、再度意識してもらうようにした	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		児童には口頭だけでなく、イラスト、音声表示、文字入力等で意思疎通・情報伝達を行っている 保護者とは言いたいことはしっかり伝えるが保護者の性格、特性を理解し、言動や行動に気を付けて意思疎通や情報伝達を行っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7	毎年の課題となっている。	来年度の目標に掲げる。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	マニュアルを全職員が把握し、対応出来るよう訓練を行っている。 訓練を通してどのような事が想定されるのか考え、様々なパターンで対応出来るようにしている。 保護者には実施状況を周知している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		毎月15日に災害伝言板、避難訓練(職員のみと児童あり)を行っている 児童には避難の仕方、避難場所の内容も伝えている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		服薬、予防接種、てんかん発作がある児童を把握し、対応出来るようにしている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	医師の指示書を持参して頂くようお願いしている また医師の指示書に基づき対応するよう務めている	アレルギーについての研修を引き続き実施していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	3	物の置き場所、取り扱い、座席の配置等普段の活動中、災害が起きた時どちらも想定し環境設定を行っている	BCPの周知徹底を引き続き行っていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	3	実際に事業所に来て頂き確認してもらっている 取り組みについても周知している	BCPの周知徹底を引き続き行っていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットがあった際には直ちに共有し、対策に務めている たくさんの方の改善策を出し合い、次の活動に活かされている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		どのような事が虐待にあたるのか、知らず知らずのうちにしてしまっていないかなど確認する研修会が行われている グループディスカッションをあり、理解度が深まっている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		記載している しなくてよいように児童一人一人の把握に努め、支援を行っている		